

負担金検証調書【令和4年度交付分】

1 負担金の予算決算等について

負担金の名称	国宝城郭都市観光協議会負担金		市の担当部課	経済環境部観光課		問い合わせ先	0568-44-0342	
負担金の金額	予算額	500,000 円	当初交付額	500,000 円	決算額	500,000 円	前年度決算額	500,000 円

2 負担金の交付先について

交付先の状況	名称	国宝城郭都市観光協議会		(法人格の有無)	無	代表者	会長 大山 嘉文		所在	姫路市	
	構成団体	彦根市、犬山市、松本市、姫路市、松江市									
	設置の根拠	国宝城郭都市観光協議会規約									
	意思決定の方法	予算及び決算、事業計画及び事業報告など重要案件は会議により決定									
事務局の体制等	所在	姫路市観光課内				代表者	姫路市観光課長				
	事業資金の管理責任者	姫路市観光課長			事業資金の管理者	姫路市観光課職員					
	契約、支出 決裁の方法	(事務局が市である場合) 市のルールに準じているか?	未準拠	完全準拠でない 場合の内容等	事務局を構成団体による持ち回り制としており、当番市のルールに準拠して実施。						
		(事務局が市でない場合) 具体的に記述								証拠書類 の有無	
事業資金等の保管方法	金融機関への預け入れ(預金通帳と印鑑は管理責任者が保管)										

3 負担金の対象となる事業等について

事業内容 (事業の全体像)	国宝の城郭を有する都市の観光振興を図るため相互の連携により観光宣伝等事業を共同で行う。
(犬山市の役割)	5市協働でのイベント出展、PRグッズ作成に参画
事業実績 (具体的な手法)	国内最大級のお城イベント「お城EXPO2022」への出展、国宝五城公式ホームページ及びSNSによる宣伝
負担金を交付して 市が得たメリット	国宝五城での取り組みは、他では成しえない強力なブランディングであり、お互いの観光事業による連携によってより多くの誘客に繋がるなどスケールメリットも大きい。市単独では出来ない特別な利益を得ている。

4 負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額(当初支出額)	500,000 円	精算の有無	無	精算(返還)額	0 円	精算後の負担金の額	500,000 円
負担金の対象となる全体事業費(精算がある場合は精算前の額)	収入額	3,204,072 円	支出額	2,444,042 円	余剰額	760,030 円	
構成員の負担割合(根拠)	国宝城郭都市観光協議会総会により決定(各市500,000円負担)						
余剰額が発生した場合の取扱い	次年度へ繰越					繰越額	760,030 円
交付先における収入の状況(精算前の額)	各市の負担額2,500,000円、雑収入24円、前年度繰越金704,048円						
交付先における 支出の状況	項目	予算(当初支出時の想定)		決算(実績)			
		積算等	金額	積算等	金額	契約の方法、相手方等	
	事業費	お城EXPO出展、イベントノベルティ作成、その他宣伝及び情報発信等	3,154,100 円	お城EXPO出展、情報発信(HP及びSNS)	2,433,322 円	お城EXPO実行委員会、石田皓太氏、ヤマト運輸(株)、(株)播磨リビング新聞社、三井住友銀行ほか	
	会議費	総会・担当課長会議費用	40,000 円	総会・担当課長会議費用	10,720 円		
	予備費		10,000 円		0 円		
	合計		3,204,100 円		2,444,042 円		
	積算がない場合の特記事項						